

一般社団法人  
日本保健医療社会福祉学会  
第34回大会プログラム

－ 大会テーマ －

生活世界におけるサファリングとケア  
～苦悩に向き合うソーシャルワーカーの実践～

日 時 : 2024年10月12日(土)

10:00 ~ 17:40

開催方法 : ライブオンライン (Zoom)開催

## 大会日程

10月12日(土)

総合司会 川口 真理子

10:00～10:10 開会挨拶

10:10～12:10 自由研究発表

**第一分科会 座長 大賀 有記** (愛知県立大学教育福祉学部 准教授)

1. 小学校時に母親が統合失調症を発症した子どものスピリチュアルペイン  
—成人した子ども2名への質的調査の分析から—  
木村 友紀 (佛教大学社会福祉学研究科 研究員)
2. 医療ソーシャルワーカーによる身寄りがない患者への支援の実情  
～死亡に関連する課題に焦点をあてて～  
亀田 千絵 (斗南病院)  
巻 康弘 (北海道医療大学)  
米田 龍大 (北海道医療大学)
3. 在宅医療・介護連携推進事業における「協力体制構築」の開始期において必要なことに関する検討  
～開始期を担った関係機関担当者へのインタビュー調査を通して～  
木村 和弘 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部 研究員)
4. クライアントのQOL向上から見る協働のあり方 ～地域の支援機関による挑戦～  
片岡 亮介 (ソーシャルワーク事務所 つむぐ)
5. ICU多職種カンファレンスにおけるESWの役割とその評価  
碓井 祐太郎 (前橋赤十字病院)

**第二分科会 座長 大瀧 敦子** (明治学院大学社会学部 教授)

1. 石綿健康被害者における、労災保険制度の申請に対する促進及び抑制を規定する社会的要因に関する検討  
—被害者・家族および遺族に対するインタビュー調査を通して—  
福神 大樹 (兵庫医科大学)
2. 青年期の食物アレルギーの子どもの自己決定と自己管理に関する現状と課題  
小谷 智恵 (同志社大学大学院 社会学研究科 博士前期課程)
3. 医療福祉専門科目における薬害スモンに関する授業プログラムの開発  
鈴木 由美子 (長野大学)  
田中 千枝子 (日本福祉大学福祉社会開発研究所)
4. 病院組織におけるソーシャルワーカー部門の位置取り  
—先行研究からの仮説形成と研究課題の整理—  
大瀧 敦子 (明治学院大学)
5. 医療ソーシャルワーカーによる全国規模の大会・学会における演題発表の動向  
赤澤 輝和 (日本女子大学)  
保正 友子 (日本福祉大学)

**13:00～14:40 基調講演**

**「苦悩の向こうにあるもの：ソーシャルワーカーの未来を見据えて」**

**講師** 浮ヶ谷 幸代(相模女子大学名誉教授)

**座長** 山本 みどり(本学会理事)

**14:50～17:30 シンポジウム**

**「苦悩に向き合うソーシャルワーカーの実践」**

**座長** 宮崎 清恵(神戸学院大学 総合リハビリテーション学部教授)

**シンポジスト** 新保 一葉(西陣病院)

西村 睦美(川越病院)

平野 朋美(公益社団法人埼玉県医療社会事業協会理事)

**基調講演者** 浮ヶ谷 幸代(基調講演から引き続き参加)

**17:30～17:40 閉会挨拶**